

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 2月 1日

公表:令和 5年 3月1日 予定

事業所名 Drawing

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			地域の交流センターや公園を活動場所にしたり、グループごとに活動場所を分けるなどして工夫しています。また、ゆりの台集会所も活動場所の一つとして活用する予定です。(ゆりの台の方から声をかけていただいた。)
	2	職員の配置数は適切であるか	8			指定基準以上の人員を配置しています。今年度は保育士・作業療法士等の資格保持者を3名増員しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			8	玄関口の階段やトイレの導線など、バリアフリー化はされていません。室内においても、主な活動スペースにはプレイマットを敷いており現在ご利用中のお子さんが過ごしやすいことを優先させていただいております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			振り返りや打ち合わせは日々行い、業務改善を進めるための会議は週一回のミーティングを開いて各自任された業務内容の進捗状況を共有し、職員全体でPDCAサイクルを行っています。パートスタッフとも月に1回～2回程度、全体ミーティングを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			評価表をご提出いただき、ご意見を真摯に受け止めて業務改善につながるよう、努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			今年度も活動参観日を設け、保護者さんと相談員さんに参観に関するアンケートにご回答いただきました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			外部研修:スタッフ用の回覧板で研修案内を周知し、外部研修に参加しています。また、ABAセラピストはスキル維持、向上のための研修にも積極的に参加しています。内部研修:全体ミーティングの際に小さな勉強会を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			設定した課題に応じて適切なアセスメント方法を吟味し、応用行動分析の視点で課題分析を行い、支援方法を打ち出しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		1		標準化されたアセスメントツールは、Vineland-II 適応行動尺度を使用しています。必要に応じてポータージチェックリスト等も使用しています。また、今年度より、新版K式発達検査をDrawingで受検できる体制を整えています。受検されたお子さんに対しては検査結果をもとにした支援方法を打ち出しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			全体の活動プログラムと個別のプログラムをスタッフ間で検討しながら設定し、さらに毎日の打ち合わせでねらいやリスクについて綿密な立案をしています。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		室内や公園、交流センターなど活動場所は様々です。、支援計画に沿って小集団活動、個別の時間など必要に応じて取り入れ、日ごとに活動内容を決め、子供たちが楽しめるよう組立て、固定化しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8		かなり細かく課題設定をし、前もって支援方法のシミュレーションを行うこともあります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		個々の特性に応じた課題や目標をスモールステップで設定しています。個別活動と集団活動は個々の特性を考慮しながら組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		振り返りを行い、当日の支援開始前にリスクやねらいを話し合い、支援内容の確認や担当スタッフについて、打ち合わせを重ねています。活動中、役割に応じて担当スタッフを変更することもあります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		適宜振り返りを行い、心身の様子や課題の達成状況などを共有し、支援記録に残しています。また、支援記録内容は支援計画のモニタリングにも反映しています。パートスタッフにも支援記録に必ず目を通すよう、指導しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		毎利用日ごとに詳細に連絡ノートに記載しています。また、振り返り際には個々の支援記録を残し、次の支援方法を検討する時間も設けています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		支援計画のステップに沿って、モニタリングを行っています。その他で評価しておくべきこともモニタリング資料として記録しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8		基本活動のすべてに関わる支援計画の作成や活動を提供しています。
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		担当者会議の前にはスタッフ全体で話し合いを行い、会議自体は主に管理者が出向いています。必要に応じて他のスタッフが同席することもあります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8		保護者さんを通じて学校の行事プリントをいただいています。また、地域の小学校に関しては、下校時刻のプリントを直接いただける学校もあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8		保護者を通じて連絡体制は整っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8		ご協力いただける保護者さんからは、就学前の通園先が作成した移行資料を提供していただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8		Drawingのモニタリング資料を保護者さんにお渡しし、保護者さんの判断で進路先に自由に提供して頂けるようお伝えしています。

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		専門機関主催の研修に積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8		公共施設や公園等の活動場所地域のお子さんと場所の共有はありますが一緒に活動はしていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8		あれこれ相談会へ事業所のリーフレットの提供をしました。こども未来部会へはできる限りで参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		連絡ノートにその日の様子や活動内容、課題に沿った内容等詳細に記録し、毎利用日に保護者さんへ送信しています。また、保護者記載欄を設け、ご自宅での様子や困りごと、共有事項を記入していただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8		面談時に事業所内相談時間を設定し、困りごとの相談や支援方法のアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		ご利用開始時の契約段階で説明をしています。また運営規定に変更がある際はその都度同意のサインをいただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		ご相談があった際には迅速に対応させていただいております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		活動参観日には、ご利用児童の保護者さんにお越しいただき、お子さんの普段の活動の様子をみていただきました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		重要事項説明書及び利用契約書に明記し、ご契約時に整備体制についてお話させていただいております。苦情があった場合には迅速かつ丁寧な対応に徹するよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		学校休業日(夏休み等)は毎日の活動内容を写真やイラスト付きで案内しています。活動の様子がより伝わりやすいように、連絡ノート送信時にお子さんの活動風景の写真も添えることがあります。
	35	個人情報に十分注意しているか	8		契約時に、利用契約における個人情報使用同意書へのサインをいただき、さらに個人情報に関するアンケートにてさらに細かくご回答いただき、個別に注意する点に気を付けています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		お子さんに対しては代替コミュニケーション方法を用いたり、代替コミュニケーションスキルを身に付ける取り組みを活動内で行っています。また視覚優位・聴覚優位な個々の特性に配慮した情報の伝達方法も取り入れています。保護者の方々には専門用語はあまり使わず、できるだけわかりやすい表現でお伝えするよう心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		瀬戸市自立支援協議会主催のまっとながろ祭にて、Drawingの活動体験をブース出展しました。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8		マニュアルを作成し、保護者への周知とマニュアルの配布を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		外出することに慣れること・避難場所の公園へ抵抗なく行きその場所で過ごせること・避難場所のどこが安心できる場所なのか。までの細かい把握に努めています。災害時に子どもたちがスムーズに非難できることに重点をおいて平日頃の活動がいつでも避難時に置き換えられるようにしています。毎年3月に数回、避難訓練を重点的に行っています。 春休みに防災学習センターへ行き、防災体験を実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		虐待防止委員会を設置し、スタッフ全員で倫理・虐待予防研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		該当事例があった場合には、保護者に丁寧に説明をした上で、身体拘束説明書・身体拘束に関する同意書へのサインをいただき、経過観察記録や、再検討記録をとっています。また、終了の際も同様に行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		保護者を通じて医師の指示を仰ぐ体制となっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		事例を共有し、実際の現場で運用可能な対応策を練ったあと、記録として残しファイリングしています。